

2015年6月4日

報道関係者の皆様

銚電写真館 中井精也ギャラリー リニューアルオープンのお知らせ

この度、銚子電鉄では犬吠駅2階「銚電写真館 中井精也ギャラリー」に鉄道写真家 中井精也氏の鉄道写真の展示に加え、鉄道ジオラマを展示致します。

このジオラマは CP+（2015年2月 パシフィコ横浜）、ゆる鉄紀行（2015年3月～5月 笠間日動美術館）で展示していたものを銚電写真館 中井精也ギャラリーに移設したものです。

大きさは5400mm×3100mmで約12畳分、車両はGゲージをベースに作製し、1週15mを約1分で走ります。

ジオラマの監修は中井精也氏が行い、過去の中井氏の名作といわれている作品と同様のシーンが数か所、ジオラマ上で表現されており、列車が走る風景をリアルにカメラに収めて楽しむことができます。

展示は2015年6月6日から同年8月31日まで。

6月6日は13時開館、13時15分より出発式を行います。

当日は13時まで入館できませんのでご了承ください。（通常は10時～17時）

当館の入場料は150円（6歳以上）。

犬吠駅で入場券を購入し入場できます。

ジオラマの車両の運行時刻はHP上で告知いたします。

（6/6 6/7 は、営業時間内は常時運行予定です）

なお、中井精也氏に銚電写真館 中井精也ギャラリーの名誉館長に就任して頂きましたので併せてご報告させていただきます。

以下は中井精也名誉館長からのコメントです。

僕は鉄道写真家ですが、鉄道の車両だけを撮っているわけではありません。鉄道の線路脇で感じられる旅情やのんびりとした空気感が、僕の被写体です。でも日本の鉄道は近代化が進み、昔ながらの懐かしい鉄道の原風景は、残念ながらどんどん姿を消していっています。そして昔の味わい深い鉄道写真を見るたびに感じるのは、「最新のカメラで、こんな風景を写せたら最高だろうなあ」ということ。そんな鉄道ファン、写真ファンなら誰もが持つ夢を、ここでかなえることができました。ぜひ、僕が理想とする懐かしい鉄道の原風景を存分に撮影してください。そしてその撮影を通して、僕が鉄道写真で表現したい想いを、共有していただければ幸いです。

中井精也